平成１５年度　産業建設常任委員会行政視察報告書

平成１６年1月２２日

１．日　　程　　平成１５年１１月１２日～１４日

２．視 察 先 等　　高知県高知市　　人口３２万７千人

　　愛媛県北条市　　人口　２万９千人

３．視察事項等　　高知市　・都市景観の形成について

　　北条市　・道の駅（風早の郷　風和里）について

４．視　察　者　　一行　９名

　　委員　安田　憲喜委員長　　古山　一作副委員長　　広野　豊作委員

　　高井　　保委員　　小野吉太郎委員　　茂岡明与司委員

　　大桃　一明委員

　　当局　金田　洋輔建設課参事

　　随行　石井　信一議会事務局副参事

高知市　　都市景観の形成について

【都市形態】

四国南部のほぼ中央に位置し、西方と北方には山岳が巡り、東方には肥沃な美田が続き、南方は浦戸湾を経て太平洋に臨んでいる。土地は総体的に低く、東・南部の湿田地帯は海抜1.0m、市中心部の県庁前が 3.0m、北方山岳地帯が 400～600m で、約 7 ㎢が約 0m 地帯であり雨量が多く、毎年夏から秋にかけて台風の襲来がたびたびとある。しかし、北に四国山地、南に黒潮の暖流が巡る南国的な明るい都市である。

土佐２４万石の城下町として、山内一豊の入国以来、土佐の政治、文化、経済の中心として発展。幕末、明治期には、坂本竜馬や板垣退助など偉人を多く輩出した歴史豊かなまち。南国四国をリードする商業観光都市である。

【都市景観】

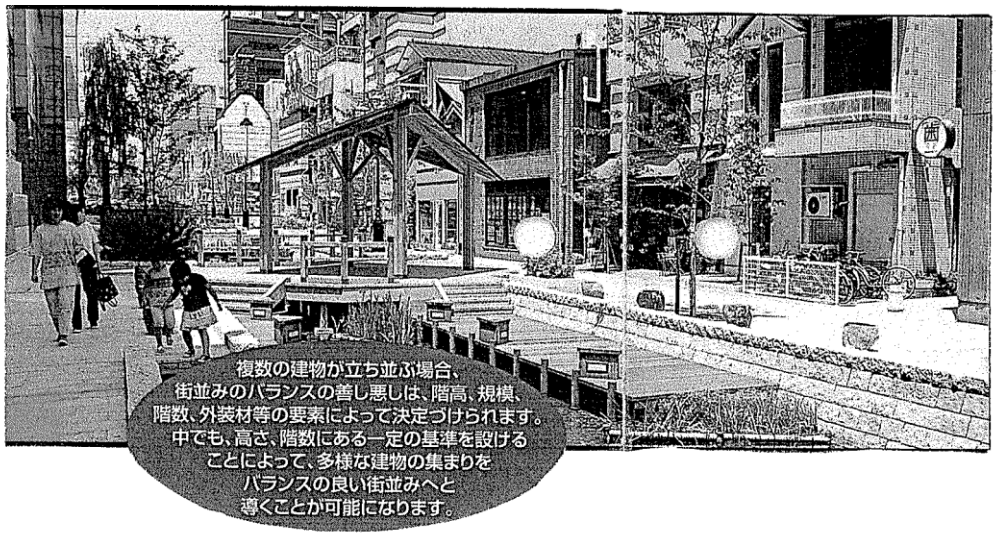
平成 7 年 4 月に産業活性化条例を制定し、ソフトウェア団地を整備。平成 8 年 4 月には「心安らぐ文化的で魅力ある街並みの創出、緑や水辺等の自然を生かしたゆとりと潤いのある快適なまちづくりに資すること。」を目的として「高知市都市美条例」を制定し、都市景観の形成を目指した取り組みを展開している。

高知市のめざす都市美の形成は、単に造形的に美しい環境を作るのでなく、都市のさまざまな活動や市民生活を反映した雰囲気、文化的香り、歴史性、親しみなど視覚以外の領域を含めた総合的なものとしてとらえ、地域そのものの魅力を高めていくことにある。

都市美の形成の意義として、美しいまちは、市民に快適さや、ゆとりをもたらすだけでなく、様々な人々を引きつける魅力となり街に活気をもたらす。

また、こうしたまちづくりに市民が積極的に参加し、行政と市民とのパートナーシップによるまちづくりを実践することは、魅力あるコミュニティーを育み、表面的な美しさだけでない真に美しいまちを現実のものとすることができる。

条例には、都市美の形成を図るために市民、事業者、市の三者が一体となって進めるためのもので、「都市美の形成のための基本理念的な部分」と、「実質的な景観誘導を図る部分」からなり、都市美形成基本計画の策定、景観誘導策として大規模建築物等の届出制度、都市美形成モデル地区制度、都市美形成建築物等の指定制度、市民自身による都市美の形成のための施策や助成制度を規定している。



北条市　　道の駅（風早の郷　風和里）について

【都市形態】

北条市は愛媛県の中央部にあって、南部は松山市に東部・北部は郡境で、越智郡玉川町、同菊間町に隣接する。

気候は、瀬戸内海気候といわれる温暖で多照、寡雨であり、年平均気温は１５～１６度、降雨量は年平均 1,300～1,400 ㍉前後である。

総面積は、102.13 ㎢（陸地部）、南北１３㎞のほぼ四辺形をなし、東部は標高 986m の高縄山を主峰とする分水峰が南北に走り、西部は瀬戸内海の斎灘に望んでいる。この海岸線に沿って平坦地が開け、市街地ならびに地味肥沃な風早平野を形成しているが、総面積の 70%は山林からなっている。

市街地の活性化施策としては、自動車交通社会の進展に対応した、総合的な交通ネットワーク整備への対応の遅れや、魅力ある商業地域としての転換の遅れなど、複合的な要因の克服がまちづくりの課題。課題解消のために市街地の整備改善と商業等の活性化を両輪一体に推進する。

地元の人や来訪者が「やさしさ」に包まれるまち、海からの「潮風」に象徴される北条らしさを再発見できるまちをめざす。

【道の駅（風早の郷　風和里)】

道の駅「風早の郷　風和里」は、市のほぼ中心に位置し、周囲を美しい山々や瀬戸内海に囲まれた自然豊かな農林水産業の盛んな地域にある。

四季の移り変わりが美しいこの風早の地に、道の駅「風早の郷　風和里」が愛媛県として２０番目の道の駅として平成１５年３月にオープンした。

施設は、北条市と国土交通省が共同で整備したものであり、県産材をふんだんに使用した木造平屋建て。木造建築とマッチした駅舎の屋根に配された銀鱗の甍も印象的だ。

木の香りを活かした施設によって、利用者に憩いと安らぎを提供し、地域産業振興活性化を図っている。

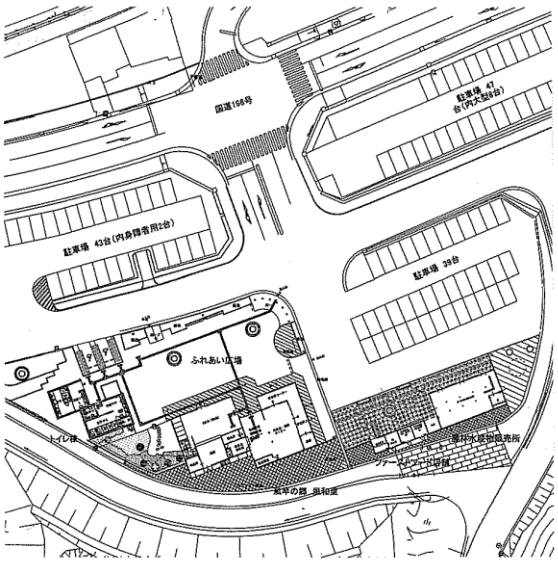
そのほか、道の駅整備に併せて、とれたての新鮮な野菜及び魚介類をはじめ市内の特産品、また加工品の漬物や惣菜類が豊かに並び、さらには地場産品を活用したレストランや道路情報端末室、休憩室なども完備。休憩や買物だけでなく、周囲には市スポーツセンターにある運動施設や瀬戸内海に面する海水浴場の施設が整い、人々の交流や地域の文化や歴史・名所・特産物を紹介する情報発信の場となっている。

道の駅　風早の郷　風和里

施設概要	レストラン・特産物販売施設・休憩室・道路情報端末
設置者	北条市・国土交通省（トイレ棟）
管理運営組織	風早の郷　ふわり共同組合
開設	平成 15 年 3 月 22 日
敷地面積	１２，０００平方メートル（区域外駐車場 5,500 ㎡）
総事業費	１１６，７４７，０００円

道の駅　駅舎	レストラン	味工房　花へんろ	129	㎡
	情報コーナー		50	㎡
	特産品販売コーナー		60	㎡
	青空市コーナー		46	㎡
	事務室	（駅長室）	23	㎡
			430	**㎡**

産業活性化施設	アイスクリーム販売	モンテサント	16	㎡
	たこ焼き	たこ将	8	㎡
	天ぷら	茶熊	8	㎡
	特産品販売棟	鮮魚・野菜	108	㎡
			149	**㎡**

トイレ	男　小便器　　5 個	大便器　　2 個	95	㎡
	女　　5 個			
	身体障害者用　1 個			

駐車場	自家用車	（公園区域含む）	155	台
	大型		8	台
	身体障害者用		2	台
			165	**台**